

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	相好トランポリンクラブ・児童福祉センター四日市		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大型トランポリンのある広々とした施設で、のびのびと運動活動ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広い空間を活かした運動を行うようにしている。</li> <li>・学校の体育で行うマット運動や跳び箱などに取り組み、自信をもって授業に臨めるようにしている。</li> <li>・施設が広いので、目が行き届くよう職員で連携し、子どもの動きをしっかり把握して安全に活動できるように努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トランポリンを使った楽しい遊びなど考案していく。</li> <li>・いろいろな運動器具を最大限に活用し、運動能力の向上に活かしていく。</li> </ul>
2	トランポリンや体操の選手、経験者が運動指導を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の使い方やコントロールの方法など、的確な運動指導ができる。</li> <li>・運動器具についての知識があり、適切で安全な使い方ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は、運動能力向上のための専門的な知識をアップデートしていく。</li> </ul>
3	トランポリンの技や級の習得など、目標がわかりやすく、達成感を得ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人のレベルに合った運動プログラムを提供している。</li> <li>・苦手なことも練習を重ねてできるようになることで、達成感や自信、挑戦意欲につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族や地域の方を招いたトランポリン発表会を定期的で開催するなど、成長を発表する場を設けたい。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々のプログラムの内容や活動に大きな変化がなく、マンネリ化しやすい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動療育を中心としてタイムスケジュールを組んでいるため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の行事や外出活動などの計画、実施。</li> <li>・職員の配置や人数の見直し。</li> </ul>
2	送迎の希望や待機児童の要望にお応えできていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員の不足。</li> <li>・待機児童を受け入れる環境が整っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員の補充</li> <li>・環境の整備</li> </ul>
3	経験年数の少ない職員が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉未経験で入職した職員が多いため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉や保育の研修に参加するなど、知識を深めていく。</li> </ul>